

年頭の あいさつ



豊山町議会議長
岩村みゆき

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活が一変しました。緊急事態宣言が発出され、一斉休校、外出自粛、そして、町の行事もほぼ中止となりました。

経済への影響も甚大でありました。影響を受けられた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

議会におきましても、皆様とともに痛みを分かち合いたく、議員報酬の10%削減を1年間行うことを全会一致で議決いたしました。そのほかに、国の特別定額給付金をはじめ、プレミアム付商品券事業、新生児給付金、ひとり親家庭給付金、テイクアウト対応助成金、医療機関支援金、県とともに新型コロナウイルス感染症対策協力金など支援策を議決してまいりました。

4回の定例会と4回の臨時会では、マスクの着用、手指消毒、傍聴席も感染予防のため制限させていただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、議会改革としてタブレット端末を導入いたしました。議事の効率的運用を行いペーパーレスに努めてまいります。議会改革等特別委員会では、議会の傍聴を自粛せざるを得ない場合でも、議論をご覧いただきたいと考えて、議会中継についての話し合いを行なっております。

新しい生活様式で迎えた年は、町制施行50年を目指す年でもあります。まだまだ先が見えない状況ではございますが、一人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジを目指し、誰一人取り残さない社会を実現してまいります。

1日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願い、皆様にとって健康で良い一年になりますことをご祈念申し上げます。町民の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和三年元旦

新春を 迎えて



愛知県知事
大村秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に取り組みとともに、ジブリパークの工事着手や、スタートアップ支援拠点「ステーションA」の事業開始など、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、「愛知」を「新起動」させる年となりました。

世界は、新型コロナウイルスの感染拡大、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展などにより、刻々と変化しています。愛知県が日本の成長エンジンとして、我が国の発展をリードし続けるためには、変化に的確に対応し、新たな付加価値を生み出していかなければなりません。

今年も、国内外から最先端の技術・サービス・人材を取り込みながら、モノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムを推進し、新たな付加価値を創出する「愛知発イノベーション」の実現を目指します。

あわせて、ジブリパークの整備など、愛知の魅力を高める取組を進め、国内外でのプレゼンス向上を図ります。

また、リニア開業を見据えた社会基盤整備、農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉・環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民生活と社会福祉の向上にも取り組むとともに、今年開催予定のロボカップアジアパシフィック大会・ワールドロボットサミット、世界ラリー選手権などのビッグイベントも万全の準備を整え、愛知の魅力を世界中に発信してまいります。

「暮らし・経済・環境が調和した輝くあいち」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

二〇二一年元旦